

川崎市ホームページ
アクセシビリティ対応基準書

平成 31 年 2 月

総務企画局シティプロモーション推進室

本書の位置づけと適用対象

●本書の位置づけ

川崎市ホームページは、提供する情報やサービスを高齢者や障害者を含めた誰もが支障なく利用できるよう、ウェブアクセシビリティに十分配慮しなければならない。

平成 16 年 6 月に、ウェブアクセシビリティの JIS 規格「JIS X 8341-3:2004 高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部:ウェブコンテンツ」が制定され、その後、ホームページの制作技術の変化等を踏まえた 2 回の改正が行われ、平成 28 年 3 月に JIS X 8341-3:2016 として公示された。

川崎市ホームページは、JIS X 8341-3:2016 に示された内容に基づいてホームページを作成する。川崎市ホームページ対応基準書(以下、本書)は、JIS X 8341-3:2016 の 61 の達成基準のうち川崎市が対応するものについて、作成の基準を定めたものである。

●適用対象

本書は、平成 24 年 10 月にリニューアルした川崎市公式ホームページ(www.city.kawasaki.jp)及び、今後川崎市が作成するウェブサイト、ウェブシステムにおいて作成される全てのページに適用する。

なお、本書の対応基準のうち、本市が導入している CMS における対応と代替手段を講じているものについては、(別紙)「ウェブアクセシビリティ対応基準・実現方針」に記載するものとする。

また、コンテンツを外部委託する際において本書の作成基準のうち、対応できないものがある場合は、対応できない基準とその理由を総務企画局シティプロモーション推進室に報告するものとする。

●達成方法について

本書は情報通信アクセス協議会ウェブアクセシビリティ基盤委員会「WCAG2.0 解説書」 「WCAG2.0 達成方法集」に基づき、構築において採用すべき達成方法を示している。川崎市ホームページの構築は、本書が示す達成方法により実施する。

なお、「WCAG2.0 解説書」には、JIS X 8341-3:2016 の各達成基準を実現するための達成方法について本書で採用した以外の方法も説明されている。本書が示す達成方法では対応できないコンテンツがある場合には、「WCAG2.0 解説書」に示された方法から達成方法を追加することができる。達成方法を追加する場合は、総務企画局シティプロモーション推進室に事前に相談の上で行なう。

●参照すべき規格及び文書

- JIS X 8341-3:2016
- WCAG2.0 解説書 (<http://waic.jp/docs/wcag2/understanding.html>)
- WCAG2.0 達成方法集 (<http://waic.jp/docs/wcag2/techs.html>)

目次

本書の位置づけと適用対象	1
目次.....	3
1. 基本要件.....	6
1.1 構築に用いる技術.....	6
1.2 対応ブラウザ.....	7
2. ウェブアクセシビリティ対応基準.....	8
達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ	8
達成基準 1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）	13
達成基準 1.2.2 キャプション（収録済み）	14
達成基準 1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）	15
達成基準 1.2.4 キャプション（ライブ）	16
達成基準 1.2.5 音声解説（収録済み）	17
達成基準 1.3.1 情報及び関係性	18
達成基準 1.3.2 意味のある順序	22
達成基準 1.3.3 感覚的な特徴.....	23
達成基準 1.4.1 色の使用	24
達成基準 1.4.2 音声の制御.....	25
達成基準 1.4.3 コントラスト（最低限レベル）	26
達成基準 1.4.4 テキストのサイズ変更	28
達成基準 1.4.5 文字画像	30
達成基準 2.1.1 キーボード.....	31
達成基準 2.1.2 キーボードトラップなし.....	32
達成基準 2.1.3 キーボード（例外なし）	33
達成基準 2.2.1 タイミング調整可能.....	34
達成基準 2.2.2 一時停止，停止及び非表示	35
達成基準 2.2.3 タイミング非依存.....	36
達成基準 2.2.4 割込み.....	37
達成基準 2.3.1 3 回のせん（閃）光，又はしきい（閾）値以下.....	38
達成基準 2.3.2 3 回のせん（閃）光.....	39
達成基準 2.4.1 ブロックスキップ.....	40
達成基準 2.4.2 ページタイトル	41
達成基準 2.4.3 フォーカス順序	42
達成基準 2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）	43

達成基準 2.4.5 複数の手段.....	45
達成基準 2.4.6 見出し及びラベル.....	46
達成基準 2.4.7 フォーカスの可視化.....	47
達成基準 2.4.8 現在位置.....	48
達成基準 2.4.9 リンクの目的（リンクだけ）.....	49
達成基準 2.4.10 セクション見出し.....	51
達成基準 3.1.1 ページの言語.....	52
達成基準 3.1.2 一部分の言語.....	53
達成基準 3.1.3 一般的ではない用語.....	54
達成基準 3.1.4 略語.....	55
達成基準 3.1.5 読解レベル.....	56
達成基準 3.1.6 発音.....	57
達成基準 3.2.1 フォーカス時.....	58
達成基準 3.2.2 入力時.....	59
達成基準 3.2.3 一貫したナビゲーション.....	60
達成基準 3.2.4 一貫した識別性.....	61
達成基準 3.2.5 要求による変化.....	62
達成基準 3.3.1 エラーの特定.....	63
達成基準 3.3.2 ラベル又は説明.....	64
達成基準 3.3.3 エラー修正の提案.....	66
達成基準 3.3.4 エラー回避（法的，金融及びデータ）.....	67
達成基準 3.3.5 ヘルプ.....	68
達成基準 3.3.6 エラー回避（全て）.....	69
達成基準 4.1.1 構文解析.....	70
達成基準 4.1.2 名前（name），役割（role）及び値（value）.....	71

● 作成・改訂履歴

年月	版数・改訂内容
平成 23 年 8 月	初版発行
平成 25 年 1 月	第 1 回改訂 (ホームページリニューアル、及び WCAG2.0 実装方法 2012 年 5 月 15 日更新版を踏まえた修正)
平成 27 年 4 月	第 2 回改訂 (組織名変更)
平成 28 年 4 月	第 3 回改訂 (組織名変更等)
平成 29 年 3 月	第 4 回改訂 (JIS X 8341-3:2016 改正を踏まえた修正)
平成 31 年●月	第 5 回改訂 (WCAG2.0 達成方法及び日本語訳の更新を踏まえた修正)

1. 基本要件

1.1 構築に用いる技術

➤ ウェブコンテンツ制作技術として以下を採用する。全てのコンテンツは、これらの技術の仕様に則って制作を行う。

- HTML
- CSS
- Java Script

※HTML及びCSSによって全ての情報がアクセシビリティに配慮された形で提供されることを原則とし、Java Script は利用者の利便性を高める付加的な表現や動作を実現するために用いることとする。(Java Script をサポートしていない閲覧環境で利用した場合でも、情報の読み取り及び操作に問題は生じない)

※各制作技術のバージョンを明確化し、その技術の仕様に則ってウェブコンテンツを作成した上で、文法チェックを行うこと。

➤ HTML については、納品前に以下のサービスを利用し「This document was successfully checked as (HTML バージョン) !」が表示されることを確認する。(「Error」の場合は不可とする。)

W3C Markup Validation Service (<http://validator.w3.org/>)

➤ CSS については、納品前に以下のサービスを利用し「おめでとうございます！ エラーはありません。」が表示されることを確認する。(「エラー」が表示される場合は不可とする。)

W3C CSS Validation Service (<http://jigsaw.w3.org/css-validator/>)

1.2 対応ブラウザ

➤ 以下のブラウザで、概ね同じ表示がなされるよう作成する。

- Safari 最新版
- Internet Explorer 最新版
- Google Chrome 最新版
- Android Browser 最新版
- Firefox 最新版
- Edge 最新版

各ブラウザについては、Windows、Mac、主なモバイル端末で問題無く利用できることを確認する。

➤ 以下いずれかの音声読み上げソフトで、内容に過不足無く、読み上げの順序と意味の順序に整合性が取れていることを確認する。

- NVDA 最新版
- JAWS for Windows 最新版
- PC-Talker 最新版
- NetReader+PC-Talker 最新版
- FocusTalk 最新版

2. ウェブアクセシビリティ対応基準

達成基準 1.1.1 非テキストコンテンツ

【適合レベル：A】

- テキスト以外の情報について、以下の方法で代替する。

●画像

画像を提供する場合の原則

- 全ての画像には必ず alt 属性を指定する。

例)

```

```

短い説明で代替が可能な画像の場合

- 利用者にとって情報として意味を持った画像は、情報の内容を alt 属性として指定する。

例)

テキストを画像化したものには、そのテキストの内容を指定

例)

マークで意味を伝えているリンクボタンなどには、マークが伝えている内容（例えば、索引 など）を指定

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G94: 非テキストコンテンツに対して、それと同じ目的を果たし、かつ同じ情報を示す、簡潔なテキストによる代替を提供する

ARIA10: 非テキストコンテンツに対してテキストによる代替を提供するために、aria-labelledby を使用する (ARIA)

G196: 画像のグループにある一つの画像に、そのグループのすべての画像を説明するテキストによる代替を提供する

H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

G95: 非テキストコンテンツの簡単な説明を提供する、簡潔な代替テキストを提供する

複雑な説明が必要な画像の場合

- 複雑な説明が必要な画像の場合は、簡潔な名称や説明のみを alt 属性で指定し、完全な説明は、ページ本文内にテキストで配置する。

例)

グラフ画像、地図画像、長い文章や表を画像化したもの、フローやチャートを表した画像など

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

ARIA15: 画像の説明を提供するために aria-describedby を使用する (ARIA)

G74: 短い説明の中で長い説明のある場所を示して、非テキストコンテンツの近くにあるテキストで長い説明を提供する

H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

情報として意味のない画像の場合

- 情報として意味のない画像は、alt="" と指定する (ダブルコーテーションの中に何も書かない)。あるいは CSS から画像を読み込み表示する。

例)

配置を制御するための透明な画像、雰囲気表現しただけで特にテキスト化して伝える意味がない画像など

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

C9: 装飾目的の画像を付加するために、CSS を使用する (CSS)

H67: 支援技術が無視すべき画像に対して、img 要素の alt テキストを空にして、title 属性を付与しない (HTML)

●リンク画像

- リンク画像の alt 属性には、利用者がリンク先のページの内容を想像できる言葉を指定する。具体的には以下の点に注意する。
 - リンク先ページのページタイトル(title 要素)や大見出し (h1 要素) の内容など、リンク先ページの内容を表す言葉を用いる。
 - 画像だけにリンクが設定されている場合、alt="" とはせず、リンク先のページ

の内容を想像できる言葉を用いる。

- 同じページへ移動するリンク画像とリンクテキストを隣り合わせて掲載する場合は、以下のとおりとする。
 - リンクテキストには、利用者がリンク先のページの内容を想像できるような言葉を用いる。
 - 両者を a 要素で括り一つのリンクとする。
 - リンク画像の alt 属性は、alt="" と指定する。(ダブルコーテーションの中に何も書かない。)
- HTML ではないファイルへのリンク、別ドメインサイトにリンクする場合のリンク画像の alt 属性の指定方法については、達成基準 2.4.9「リンクの目的 (リンクだけ)」参照。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H2: 同じリソースに対して隣接する画像とテキストリンクを結合する (HTML)

H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

H30: a 要素のリンクの目的を説明するリンクテキストを提供する (HTML)

<WCAG 2.0 に適合しない事例>

F89: リンクで唯一のコンテンツである画像にアクセシブルな名前 (accessible name) が提供されていない

●送信／実行ボタンの画像

- type 属性が"image"である input 要素において、input 要素の alt 属性でボタンの機能を説明する。

例)

```
<input type="image" name="submit" src="****.gif" alt="送信" />
```

【WCAG2.0 達成方法】

H36: 送信ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する (HTML)

●CSS を用いた画像表示

- CSS を用いて画像を表示させる場合、画像は重要な情報を伝えていないか、または画像が表示されない場合も利用者に情報が伝わるようになっている。

【WCAG2.0 達成方法】

C9: 装飾目的の画像を付加するために、CSS を使用する (CSS)

H67: 支援技術が無視すべき画像に対して、img 要素の alt テキストを空にして、title 属性を付与しない (HTML)

<WCAG 2.0 に適合しない事例>

F3: 重要な情報を伝える画像を付加するために、CSS を使用している

●マップ

- area 要素を使ってイメージマップを用意する場合は、マップの画像に alt 属性を指定するとともに、各 area 要素に対して利用者がリンク先ページの内容を想像できるような言葉を指定する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H37: img 要素の alt 属性を使用する (HTML)

H24: イメージマップの area 要素にテキストによる代替を提供する (HTML)

●入力フォーム

- 入力フォームは、入力欄（選択欄）とその名称（ラベル）を、label 要素を用いて指定する。
- input type="checkbox"またはinput type="radio"の場合は label 要素はinput の後に配置する。
- キーワード検索機能の入力欄など、名称（ラベル）を表記することが視覚的なデザイン上、適当でないと考えられる場合は、title 属性を用いて名称（ラベル）を指定する。
- 送信あるいは実行等のボタン画像に alt 属性を指定し、適切な内容を記載する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

ARIA9: 複数のテキストノードをつなげて一つのラベルにするために、aria-labelledby を使用する (ARIA)

H36: 送信ボタンとして用いる画像の alt 属性を使用する (HTML)

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素を使用する (HTML)

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する (HTML)

●object 要素を用いる場合

- object 要素を用いる場合は、object 要素のボディに代替テキストを記述する。

例)

```
<object classid="http://xxxxxxx.xxx/xxxx">  
  <p>オブジェクトとその操作方法に関するテキストを書く。</p>  
</object>
```

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H53: object 要素のボディを使用する (HTML)

達成基準 1.2.1 音声だけ及び映像だけ（収録済み）

【適合レベル：A】

●収録済の音声しか含まないコンテンツ

- 音声で提供されている内容について同一ページ内にテキストを記述するか、テキスト化したページを併せて用意し、ページへのリンクを記述する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G158: 音声のみの時間依存メディアに対する代替コンテンツを提供する

●収録済の映像しか含まないコンテンツ

- 映像で提供されている内容について同一ページ内にテキストを記述するか、テキスト化したページを併せて用意し、ページへのリンクを記述する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G159: 映像のみの時間依存メディアに対する代替コンテンツを提供する

G166: 重要な映像コンテンツを説明する音声を提供する

達成基準 1.2.2 キャプション（収録済み）

【適合レベル：A】

- 映像内の音声で提供されている内容について、キャプション（発話以外の重要な音声情報を含む字幕）を提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G93: オープン（常に見える）キャプションを提供する

G87: クローズドキャプションを提供する

H95: キャプションを提供するために、track 要素を使用する（HTML）

達成基準 1.2.3 音声解説又はメディアに対する代替コンテンツ（収録済み）

【適合レベル：A】

- 映像で提供されている内容について以下のいずれかの対応を行なう。
 - 同一ページ内にテキストを記述するか、テキスト化したページを併せて用意し、ページへのリンクを記述する。
 - 動き、登場人物、シーンの変化、画面上の文字に関する情報のうち、コンテンツを理解する上で重要で、かつ主音声では説明されていなかったり、話されていなかったりする情報を、音声解説で提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G69: 時間依存メディアに対する代替コンテンツを提供する

G58: 非テキストコンテンツのすぐ隣に、時間依存メディアの代替へのリンクを配置する

H53: object 要素のボディを使用する (HTML)

G78: 音声解説を含んだ、利用者が選択可能な副音声トラックを提供する

G203: 話者が話すのみの映像を説明するために、静的なテキストによる代替を使用する

達成基準 1.2.4 キャプション（ライブ）

【適合レベル：AA】

- 映像内のライブの音声で提供されている内容について、キャプション（発話以外の重要な音声情報を含む字幕）を提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

- G9: ライブの同期したメディアに対してキャプションを作成する
- G93: オープン（常に見える）キャプションを提供する
- G87: クローズドキャプションを提供する

達成基準 1.2.5 音声解説（収録済み）

【適合レベル：AA】

- 映像で提供されている内容について、動き、登場人物、シーンの変化、画面上の文字に関する情報のうち、コンテンツを理解する上で重要で、かつ主音声では説明されていない情報、話されていない情報を、音声ガイドで提供する。
- 外部の配信サービスを活用して提供する場合も同等の対応を行なう。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

- G78: 音声解説を含んだ、利用者が選択可能な副音声トラックを提供する
- G173: 映像の音声解説付きバージョンを提供する
- G8: 拡張音声解説が付いたムービーを提供する
- G203: 話者が話すのみの映像を説明するために、静的な代替を使用する

達成基準 1.3.1 情報及び関係性

【適合レベル：A】

●共通する原則

- 配置や見映えは原則としてスタイルシートで指定する。
- HTML の非推奨要素、属性は使用しない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

- ARIA11: ページのリージョンを特定するために ARIA ランドマークを使用する (ARIA)
- ARIA13: リージョンとランドマークに名前 (name) を付けるために、aria-labelledby を使用する (ARIA)
- ARIA20: ページのリージョンを特定するために region ロールを使用する (ARIA)
- G115: 構造をマークアップするために、セマンティックな要素を使用する
- G117: テキストの提示のバリエーションによって伝えている情報を伝達するために、テキストを使用する
- G140: 異なる提示を可能にするために、情報と構造を表現から分離する

●ページ内の見出し

- 文書内の見出しは、見た目だけを見出し風にするのではなく、見出しに相当する画像及びテキストに見出し要素 (h1～h6) を指定する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

- ARIA12: 見出しを特定するために role=heading を使用する (ARIA)
- H42: 見出しを特定するために、h1 要素～ h6 要素を使用する (HTML)

●ページ内の箇条書き

- 文書内の箇条書きは、見た目だけを箇条書き風にするのではなく、HTML の箇条書きの要素 (ul、ol、dl) を指定する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

- H48: リスト又はリンクのグループに、ol 要素、ul 要素、dl 要素を用いる (HTML)

●表

- 表を作成する場合は、できる限りセルの結合は行わない。具体的には以下のような対応を行う。
 - 見出しセルが結合されている場合には以下のようにする。
 - (1) 対応するデータセルを適宜まとめて見出しセルの結合をなくす
 - (2) そこで表を分割し、各表の **caption** 要素には見出しセルの内容を記述する
 - データセルが結合されている場合には、セルの結合を解除し、各セルには同じ内容を記述する。
- 表の読み上げ順序に十分配慮し、行と列の入れ替えなどが必要な場合は適宜行う。
- 表のセルの中に、新たな別の表を作らない。
- **caption** 要素で表題を指定する。(表の直前に見出しがあり、見出しの内容が標題を表しているような場合は指定しなくても良い。)
- 構成が複雑な表は、**summary** 属性で表の構成や読み上げ順序を説明する。(caption 要素で指定する内容と重複しないようにする。)
- 表内の見出しに相当するセルには **th** 要素を指定する。
- 2 つ以上の行見出し及び (または) 列見出しのある複雑な表は、**id** 属性及び **headers** 属性を用いて、データテーブルのデータセルを見出しセルと関連付ける。
- 上記以外の単純な表で、見出しが行方向に対する見出しか、列方向に対する見出しかあいまいな場合は、表内の見出しに **scope** 属性を用い、見出しとデータを関連付ける。(1 行目や 1 列目に見出しがある単純なテーブルの場合は、**th** 要素が指定してあれば **scope** 属性による指定はなくても良い。)
- レイアウトに **table** 要素を用いる場合は、**caption** 要素、**summary** 属性、**th** 要素などデータ表の構造を表す要素・属性を使用しない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H51: 表形式の情報を提示するために、テーブルのマークアップを使用する (HTML)

H39: データテーブルのキャプションとデータテーブルを関連付けるために、**caption** 要素を使用する (HTML)

H73: データテーブルの概要を提供するために、**table** 要素の **summary** 属性を

使用する (HTML)

H63: データテーブルで見出しセルとデータセルを関連付けるために、scope 属性を使用する (HTML)

H43: データテーブルのデータセルを見出しセルと関連付けるために、id 属性及び headers 属性を使用する (HTML)

●フォーム

- フォームのラベルと対応するコントロール (テキストボックスやラジオボタンなど) を id 属性と label 要素内の for 属性により、関連付けを行う。
- input type="checkbox"またはinput type="radio"の場合は label 要素はinput の後に配置する。

例) <p>

```
<input type="radio" name="sex" value="ma" id="male">
```

```
<label for="male">男性</label>
```

```
<input type="radio" name="sex" value="fe" id="female">
```

```
<label for="female">女性</label>
```

</p>

- キーワード検索のテキストボックスのように、ラベルとなりうるテキストを画面に表示する必要が無い場合や、ラベルを表示することで混乱を引き起こしてしまう場合は、title 属性を用いてコントロール (テキストボックスやラジオボタンなど) の名称あるいは役割を示す。
- 複数のコントロール (テキストボックスやラジオボタンなど) で構成されるフォームは、fieldset 要素及び legend 要素を用いて、グループを明示する。
- セレクトメニューに含まれる選択肢について、関連する選択肢としてグループ化すべきものがある場合、optgroup 要素を用いて、select 要素内の option 要素をグループ化する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

ARIA16: ユーザーインターフェース コントロールの名前 (name) を提供するために、aria-labelledby を使用する (ARIA)

ARIA17: 関連するフォームコントロールを特定するために、グルーピングロールを使用する (ARIA)

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素

を使用する (HTML)

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する (HTML)

H71: fieldset 要素及び legend 要素を使用して、フォームコントロールのグループに関する説明を提供する (HTML)

H85: select 要素内の option 要素をグループ化するために、optgroup 要素を使用する (HTML)

●情報の強調を表現する場合

- スタイルシートを用いて赤色の太字にするなど視覚的に強調を表現する。
- 視覚的に強調を表現することに併せて、em 要素あるいは strong 要素を用いて強調部分を指定する。

例) <p>この申込みの締め切りは、11月14日です。</p>

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G115: 構造をマークアップするために、セマンティックな要素を使用する

H49: 強調又は特別なテキストをマークアップするために、セマンティックなマークアップを使用する (HTML)

G138: 色の手がかりを用いるときは必ず、セマンティックなマークアップを使用する

達成基準 1.3.2 意味のある順序

【適合レベル：A】

●レイアウト

- 情報の意味の順序と、スタイルシートを読み込まない状態での表示順序あるいは音声読み上げソフトでの読み上げ順序を一致させる。
- 視覚的な構成順序と HTML の構成順序を一致させる。

●表

- 音声読み上げソフトで読み上げた場合に、情報を適切に理解できるように表を構成する。(行列を入替えることにより情報を理解しやすくなる場合がある)

●文字間の調整等

- レイアウトの目的で、単語内にスペースを入れたり、改行 (br 要素) を指定しない。

悪い例) 平成 2 3 年度 議 事 録

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G57: コンテンツを意味のある順序で並べる

C8: 単語内の文字間隔を制御するために、CSS の letter-spacing を使用する (CSS)

達成基準 1.3.3 感覚的な特徴

【適合レベル：A】

●情報の内容や対応関係を形で区別する場合

- テキストで情報内容や対応関係を補足するなど、形の識別がつかない場合でも、対応関係が理解できるようにする。
 - ○×△などの記号だけで意味を表す場合、「○（予約可）」のように補足する。
 - 画像の形で機能の違いを表す場合、画像の示す意味を alt 属性で指定する。

●情報の内容や対応関係を位置で区別する場合

- テキストで情報内容や対応関係を補足するなど、位置の識別がつかない場合でも、対応関係が理解できるようにする。
 - 「右上の画像は・・・」というように、位置で説明を行う場合、「右上の・・・という画像は・・・」と補足する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G96: 理解させる必要のあるアイテムを感覚的にだけ伝えるのではなく、テキストによる識別情報もあわせて提供する

達成基準 1.4.1 色の使用

【適合レベル：A】

●情報の対応関係を色で区別する場合

- テキストで対応関係を補足するなど、色を識別できない場合でも、対応関係が理解できるようにする。

●リンクの下線

- リンクの下線を消す設定は行わない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G14: 色の違いで伝えている情報をテキストでも入手可能にする

G205: 色のついたフォームコントロールのラベルに対して、テキストによる手がかりを含める

G182: 文字色の違いが情報を伝えるために使用される場合に、利用可能な追加の視覚的な手がかりを確保する

G111: 色とパターンを併用する

<WCAG 2.0 に適合しない事例>

F73: 色覚なしで視覚的にはっきりと分からないリンクを作成する

達成基準 1.4.2 音声の制御

【適合レベル：A】

- 利用者への通知なしに、自動的に音を再生することはしない。(操作案内、BGM も含む。)

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G171: 利用者の要求に応じてのみ、音声を再生する

達成基準 1.4.3 コントラスト（最低限レベル）

【適合レベル：AA】

太字でないテキストが 18 ポイント(日本語は 22 ポイント)未満、太字のテキストが 14 ポイント(日本語は 18 ポイント)未満の場合

- テキスト（及び画像化された文字）と背景色は、4.5 : 1 以上のコントラスト比を確保する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G18: テキスト（及び文字画像）とその背景の間に、少なくとも 4.5:1 のコントラスト比を確保する

太字でないテキストが少なくとも 18 ポイント(日本語は 22 ポイント)以上、太字のテキストが少なくとも 14 ポイント(日本語は 18 ポイント)以上の場合:

- テキスト（及び画像化された文字）と背景色は、3 : 1 以上のコントラスト比を確保する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G145: テキスト（及び文字画像）とその背景の間に、少なくとも 3:1 のコントラスト比を確保する

- 色の組み合わせは、色覚に障害のある利用者也想定した上で、見やすい組み合わせとする。
- テキストを含む画像を作成する際は、以下の手順に従って、コントラストや色の組み合わせを確認しながら作成する。
 - カラー・コントラスト・アナライザーを使用し、コントラスト比が確保されていることを確認する。
(<http://weba11y.jp/tools/cca/>)
 - Windows のコントロールパネルの「コンピューターの簡単操作センター」で、

「ハイコントラスト」機能を使い、「ハイコントラスト #1」に設定した状態で画像内のテキストが読み取れるようにする。（確認者の主観にゆだねる。）

- 他のサイトの製作元などから提供されるバナー画像など、改変が不可能な画像については、上記の基準の対象外とする。

達成基準 1.4.4 テキストのサイズ変更

【適合レベル：AA】

- 各ページのテキストサイズは、ユーザーが自由に変更できるようにするために以下のいずれかの相対単位で指定する。

- em
- %
- xx-small,x-small,small,medium,large,x-large,xx-large
- smaller,larger

例) `h1 { font-size: 2em; }`

- 以下の単位は使用しない。

- pt
- px

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

C12: フォントサイズにパーセントを使用する (CSS)

C13: 名前付きフォントサイズを使用する (CSS)

C14: フォントサイズに em 単位を使用する (CSS)

- 各ページにおいて、利用者がソフトウェアのダウンロードやインストールを行なうことなく 200%まで文字を拡大できる機能を提供する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G178: 利用者がウェブページ上のすべてのテキストを 200%まで徐々に変更できるコントロールをウェブページ上で提供する

- ユーザーがブラウザの機能を用いて 200%に拡大した場合でも、文字の内容が読み取れなかったり、リンクの操作ができなかったりということが起きないようにする。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G142: ズーム機能をサポートする一般に入手可能なユーザエージェントのあるウェブコンテンツ技術を使用する

C28: em 単位を用いて、テキストコンテナのサイズを指定する (CSS)

G146: リキッドレイアウトを使用する

G179: 文字サイズを変更し、かつテキストコンテナの幅を変更しないときに、コンテンツ又は機能が損なわれないようにする

達成基準 1.4.5 文字画像

【適合レベル：AA】

- 視覚的なデザインに関し、意図する表現がスタイルシートによって実現可能な場合は、テキストを画像化せずスタイルシートによって実現する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

C22: テキストの視覚的提示を制御するために、CSS を使用する (CSS)

達成基準 2.1.1 キーボード

【適合レベル：A】

- ホームページ内におけるメニューやリンクの選択、情報の入力が、マウスを使わず、キーボード操作だけで利用可能であるように設計する。
 - Tab キーでリンクを移動する順序と、文書の意味の順序の間に違いが生じないようにする。
 - 入力フォームにおいて、Tab キーで入力項目を移動する順序と、入力項目の意味の順序の間に違いが生じないようにする。
 - JavaScript の onChange、onDbClick、onDragDrop などのイベント・ハンドラは、キーボードによる操作を阻害するおそれが高いため使用しない。

- Internet Explorer 最新版を使い、メニューの選択、情報の入力が以下のキー操作で行えることを確認する。（確認の際は、キーボードのみを使用し、マウス操作は行わない。）
 - Tab キー（選択候補を順々に移動させる）
 - Enter キー（選択する）
 - 上下左右の矢印キー（ウィンドウをスクロールさせたり、選択候補を変える）
 - 必要に応じて Space 等、そのほかのキー

- 上記の作業で、選択候補の移動順序が、ページ内の情報の意味のつながりの順序と異なっていないことを確認する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G202: すべての機能に対してキーボード制御を確保する

H91: HTML のフォームコントロール及びリンクを使用する (HTML)

G90: キーボードがトリガーとなるイベントハンドラを提供する

SCR2: キーボード及びマウスのイベントハンドラを両方とも使用する (Scripting)

達成基準 2.1.2 キーボードトラップなし

【適合レベル：A】

- ページ内の一部のコンテンツ内から、キーボードのフォーカスが抜け出せないということが起きないようにする。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G21: 利用者がコンテンツ内に閉じ込められないことを確認する

達成基準 2.1.3 キーボード（例外なし）

【適合レベル：AAA】

※達成基準 2.1.1 のキーボードの達成方法を参照

達成基準 2.2.1 タイミング調整可能

【適合レベル：A】

- 利用者の入力や操作に時間制限を設けない。

達成基準 2.2.2 一時停止, 停止及び非表示

【適合レベル：A】

●移動する画像・テキスト

- 表示されているテキストを移動させない。
- テキストを含む画像を移動させない。

●変化する画像・テキスト

- 内容が変化する画像を作成する場合には、以下の基準に従う。
- なお、アニメーション GIF は、使用しない。
 - 5 秒以内に表示の変化を停止させるか、あるいは一時停止する仕組みを提供する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G4: コンテンツを一時停止させて、一時停止させたところから再開できるようにする

G11: 5 秒未満で点滅するコンテンツを制作する

G187: ユーザエージェントによって点滅するコンテンツを停止できるウェブコンテンツ技術を使用する

G152: (5 秒以内の) 数回のループ後に点滅を停止するように、アニメーション GIF を設定する

SCR22: 点滅を制御し、5 秒以内に停止させるために、スクリプトを使用する (Scripting)

G186: 動きのあるコンテンツ、点滅するコンテンツ、又は自動更新するコンテンツを停止させるコントロールを使用する

G191: 点滅するコンテンツのないページを再読み込みするリンク、ボタン、又はその他のメカニズムを提供する

達成基準 2.2.3 タイミング非依存

【適合レベル：AAA】

- 利用者の入力や操作に時間制限を設けない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G5: 利用者が制限時間なしで操作を完了できるようにする

達成基準 2.2.4 割込み

【適合レベル：AAA】

- ページに表示されている内容の一部あるいは全部を、利用者の操作なく自動的に更新しない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G76: 自動的に更新する代わりに、利用者がコンテンツの更新を要求するメカニズムを提供する

達成基準 2.3.1 3 回のせん（閃）光，又はしきい（閾）値以下

【適合レベル：A】

- 以下のいずれかの対応を行なう。
- 画面全体または画面の一部が 1 秒間に 3 回を超えて点滅する表現は行わない。
 - 1 秒間に 3 回以上点滅する場合は、以下のどちらかの対応を行う。
 - 点滅する領域を視野 10 度の 25%未満とする。
 - 達成方法「G15」により、コンテンツが一般閃光閾値及び／又は赤色閃光閾値に違反していないことを確認する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G19: どの 1 秒間においても、コンテンツに 3 回よりも多く閃光を放つコンポーネントがないことを確認する

G176: 閃光を放つ領域を十分に小さくする

G15: コンテンツが一般閃光閾値及び赤色閃光閾値を越えていないことを確認するためにツールを使用する

※「閃光」に関しては、より上位の「達成基準 2.3.2 3 回のせん（閃）光」がある。達成基準 2.3.2 を満たすことにより、達成基準 2.3.1 も満たすことができる。

達成基準 2.3.2 3 回のせん（閃）光

【適合レベル：AAA】

- 画面全体または画面の一部が 1 秒間に 3 回を超えて点滅する表現は行わない。
- 画面全体または画面の一部を占めるような、縞模様、渦巻き、同心円などの規則的なパターン模様は使用しない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G19: どの 1 秒間においても、コンテンツに 3 回よりも多く閃光を放つコンポーネントがないことを確認する

達成基準 2.4.1 ブロックスキップ

【適合レベル：A】

- ヘッダーに共通で配置されるリンクやグローバルナビゲーションを読み飛ばし、ページ本文の先頭へジャンプするリンクを全ページに配置する。
 - グローバルナビゲーションを読み飛ばすリンクは、各ページにおいて、一番初めのリンクとする。
 - グローバルナビゲーションを読み飛ばすリンクのリンクテキストは、キーボードで操作している肢体不自由者の利用を考慮して見える形で「本文へ」と表記する。
- コンテンツを適宜見出し分けして、見出し要素でマークアップすることにより、見出し部分を拾い読みした場合に、ヘッダーに共通で配置されるリンクやグローバルナビゲーションを読み飛ばすことができるようにする。
- ヘッダーに共通で配置されるリンクやグローバルナビゲーションについて、箇条書き要素（UL）でマークアップする。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G1: メインコンテンツエリアへ直接移動するリンクを各ページの先頭に追加する

ARIA11: ページのリージョンを特定するために ARIA ランドマークを使用する (ARIA)

H69: コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する (HTML)

達成基準 2.4.2 ページタイトル

【適合レベル：A】

- 各ページに必ず title 要素を指定する。
- title 要素の内容は、全ページ共通で以下の構成とする。「川崎市」と記載した後に「全角の：」を挟み、ページタイトルを記載する。

<title>川崎市：ページタイトル</title>

- 区のホームページの title 要素の内容は、全ページ共通で以下の構成とする。「川崎市 ●●区」と記載した後に「全角の：」を挟み、ページタイトルを記載する。

<title>川崎市●●区：ページタイトル</title>

- 上記の「ページタイトル」の部分には、以下の配慮のある名称を指定する。
 - 利用者がページの内容を想像できる。
 - 利用者が他のページと閲覧中のページを識別できる。
- 複数のページで同じ内容のページタイトルを指定しない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G88: ウェブページに説明的なタイトルを提供する

H25: title 要素を用いて、ページタイトルを提供する (HTML)

達成基準 2.4.3 フォーカス順序

【適合レベル：A】

- Tab キーでリンクを移動する順序と、文書の意味の順序の間に違いが生じないように構成する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G59: コンテンツ内の順番及び関係に従った順序で、インタラクティブな要素を配置する

H4: リンク、フォームコントロール、及びオブジェクトを通して、論理的なタブ順序を作成する (HTML)

達成基準 2.4.4 リンクの目的（コンテキスト内）

【適合レベル：A】

- リンクテキスト（リンク画像の alt 属性を含む）について以下のいずれかの対応を行なう。
 - リンクテキストは、それだけで利用者がリンク先のページの内容を想像できるようにする。
 - リンクテキストとそれを含んでいる文章等の文脈から、利用者がリンク先のページの内容を想像できるようにする。
- 具体的には、以下のいずれかの対応を行う。
 - 「達成基準 2.4.9」に示す対応を行う。
 - リンクテキストの前後の文脈から理解できるようにする。
 - 例) あるページに「市議会議員選挙に関する詳細は『投票に行こう！』をご覧ください」という文がある。そのうち「投票に行こう！」の部分がリンクである。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G91: リンクの目的を説明したリンクテキストを提供する

H30: a 要素のリンクの目的を説明するリンクテキストを提供する (HTML)

H24: イメージマップの area 要素にテキストによる代替を提供する (HTML)

G189: ウェブページの先頭近くに、リンクテキストを変更するコントロールを提供する

G53: リンクテキストとそれが含まれている文中のテキストとを組み合わせ、リンクの目的を特定する

H33: title 属性を用いて、リンクテキストを補足する (HTML)

C7: リンクテキストの一部を非表示にするために、CSS を使用する (CSS)

ARIA7: リンクの目的を示すために aria-labelledby を使用する (ARIA)

ARIA8: リンクの目的を示すために aria-label を使用する (ARIA)

H77: リンクテキストとそれが含まれているリスト項目とを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)

H78: リンクテキストとそれが含まれている段落とを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)

H79: リンクテキストとそれが含まれているデータセル及び関連づけられた見出しセルとを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)

H80: リンクテキストと先行する見出し要素とを組み合わせ、リンクの目的を特定する (HTML)

H81: リストが入れ子になっている状況で、親のリスト項目と結合したリンクテキストを用いて、入れ子になったリストの中でリンクの目的を特定する (HTML)

※「リンクの目的」に関しては、より上位の「達成基準 2.4.9 リンクの目的 (リンクだけ)」がある。達成基準 2.4.9 を満たすことにより、達成基準 2.4.4 も満たすことができる。

達成基準 2.4.5 複数の手段

【適合レベル：AA】

➤ サイト内の全ページに、以下を設置する。

- サイトマップへのリンク
- サイト内の全文検索機能

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G63: サイトマップを提供する

G161: 利用者がコンテンツを見つけるのを手助けするために検索機能を提供する

達成基準 2.4.6 見出し及びラベル

【適合レベル：AA】

- 見出しの内容は、章や節などの内容を理解できるものとする。
- 入力フォームにおける項目名（ラベル）は、その項目の内容を表したものとする。
- 表示を拡大したり、動画を再生するなどのコントロールを行なう機能を提供する場合は、その機能を的確に表した名称（ラベル）を明示する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G130: 説明的な見出しをつける

G131: 説明的なラベルを提供する

達成基準 2.4.7 フォーカスの可視化

【適合レベル：AA】

- Internet Explorer 最新版を用いて TAB キーで操作した場合に、ページ内のリンクテキストやリンク画像、フォーム等の選択候補を視覚的に認識可能であることを確認する。
- スタイルシートを用い、Tab キーで選択候補を変更した際にリンクを反転表示するなど視覚的に分かりやすく変化するように設定する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G149: フォーカスを受け取る際に、ユーザエージェントによって強調されるユーザインタフェース コンポーネントを使用する

C15: ユーザインタフェースコンポーネントがフォーカスを受けとったときの表示を変更するために、CSS を使用する (CSS)

G165: 視認性の高いデフォルトのフォーカスインジケータが引き継がれるように、プラットフォームデフォルトのフォーカスインジケータを使用する

G195: コンテンツ制作者が提供する視認性に優れたフォーカスインジケータを使用する

達成基準 2.4.8 現在位置

【適合レベル：AAA】

- トップページを除く全てのページに、現在位置を示した階層ナビゲーション（いわゆるパンくずリスト）を設置する。
- 全てのページに、サイトマップへのリンクを設置する。
- グローバルナビゲーションやサブナビゲーションにおいて、現在表示しているページが属するメニューを反転表示するなど、視覚的に現在位置を認識しやすいように設定する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】



G65: パンくずリストを提供する

G63: サイトマップを提供する

G128: ナビゲーションバー内で現在位置を示す

達成基準 2.4.9 リンクの目的（リンクだけ）

【適合レベル：AAA】

- リンクテキストには、利用者がリンク先のページの内容を想像できるような言葉を用いる。具体的には以下の対応を行う。
 - リンク先ページの **title** 要素の内容あるいは、文書の主題などリンク先の内容を代表する言葉を用いる。
 - 「こちら」や「ここ」などの指示語だけにリンクを設定しない。
 - 視覚的な分かりやすさを考慮し「詳細」「全文」など短いリンクを提供する必要がある場合は、達成方法「G189」または「C7」によって、リンクに対する十分な説明を提供する。
 - HTML ではないファイル（PDF、Excel、Word など）へリンクしている場合には、形式名とファイル容量をリンクテキストの最後にカッコ書きで加える。アプリケーションの種類を示すアイコン（alt=""とするかスタイルシートで読み込む）を添える。
 - 例）  [委任状\(PDF形式, 6.71KB\)](#)
 - 別ドメインサイトにリンクしている場合には、（外部リンク）の表記を用いるとともに、外部リンクを示すアイコン（alt=""とするかスタイルシートで読み込む）を添える。
 - 例） [札幌市](#) 
 - メニューページでは、メニューページへのリンクとコンテンツページへのリンクを明確に区別できるよう、メニューページへのリンクには、メニューページを示すアイコン（alt=""とするかスタイルシートで読み込む）を添える。
- リンク画像の alt 属性には、利用者がリンク先のページの内容を想像できる言葉を指定する。具体的には以下の点に注意する。
 - リンク先ページのページタイトル(title 要素)や大見出し(h1 要素)の内容など、リンク先ページの内容を代表するような言葉を用いる。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G91: リンクの目的を説明したリンクテキストを提供する

H30: a 要素のリンクの目的を説明するリンクテキストを提供する (HTML)

H24: イメージマップの area 要素にテキストによる代替を提供する (HTML)

G189: ウェブページの先頭近くに、リンクテキストを変更するコントロールを提供する

C7: リンクテキストの一部を非表示にするために、CSS を使用する (CSS)

ARIA8: リンクの目的を示すために `aria-label` を使用する (ARIA)

達成基準 2.4.10 セクション見出し

【適合レベル：AAA】

- ページ内の文書について、適宜見出し分けする。
- 見出しを適切に入れ子構造にする。(h1 がページ内に複数存在しない、h1 には h2 が続く、h2 には h2 か h3 が続く等)

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G141: 見出しを用いてウェブページを構造化する

H61: コンテンツの各セクションの開始位置に見出し要素を提供する

達成基準 3.1.1 ページの言語

【適合レベル：A】

- 各ページの html 要素に lang 属性を指定する。併せて xml:lang 属性を指定する。

例) 日本語の場合：

```
<xml:lang="ja" lang="ja">
```

- meta 要素内で文字コード (charset) を指定する。指定内容は、UTF-8 とする。文字コードの指定は title 要素の前に記述すること。

例)

```
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset="UTF-8">
```

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H57: html 要素の言語属性を使用する (HTML)

達成基準 3.1.2 一部分の言語

【適合レベル：AA】

- 本文中で日本語以外の言語が現れる場合には、そのつど lang 属性を用いて言語コードを指定する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H58: 自然言語の変更を指定するために、言語属性を使用する (HTML)

達成基準 3.1.3 一般的ではない用語

【適合レベル：AAA】

- 一般的でない用語（専門用語、流行語、俗語など）を用いる場合には、ページ内の初出箇所で、以下の対応を行う。
 - その言葉の後ろにカッコ書きで、言葉の意味を説明する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G101: 一般的ではない、又は限定された用法で用いられている単語又は語句の定義を提供する

達成基準 3.1.4 略語

【適合レベル：AAA】

- 略語を用いる場合には、ページ内の初出箇所で、以下の対応を行う。
 - その言葉の前か後ろにカッコ書きで、正式名称を説明する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G102: 略語の元の語又は説明を提供する

G97: 略語の初出時、その直前又は直後に元の語を提供する

達成基準 3.1.5 読解レベル

【適合レベル：AAA】

- 分かりやすい文章表現、構成を心がける。
- 難解な記事について、分かりやすい（「中学校教育レベルの読解力で理解可能」を目安に）要約説明を提供する。
- 以下の情報については、イラストや図表を用いて分かりやすく表現する。
 - 地理情報や所在地など、位置関係を説明する情報
 - 組織、手順、プロセスなど体系だった説明が可能な情報

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G86: 前期中等教育レベルの読解力をもつ人が理解できるテキストの要約を提供する

G103: アイデア、イベント及びプロセスを説明するのに役立つ、視覚的なイラスト、写真及びシンボルを提供する

G153: テキストを読みやすくする

達成基準 3.1.6 発音

【適合レベル：AAA】

- 読みの難しい漢字を多用しない。
- 読みが難しいと思われる漢字を使用する場合は、ページ内の初出箇所で、以下の対応を行う。
 - その言葉の後ろにカッコ書きで、読みを記載する。

例：長万部（おしゃまんべ）

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G120: 単語の直後に発音（読み）を提供する

達成基準 3.2.1 フォーカス時

【適合レベル：A】

- ページ内の全てのコンテンツについて、キーボードフォーカスを受け取った際に、自動的に状況の変化が起きないようにする。
 - 入力フォームについて、送信ボタンがキーボードフォーカスを受け取った際に、自動的に送信されることがないようにする。
 - リンクやリンク画像などについて、キーボードフォーカスを受け取った際に、自動的にページが遷移したり新しいウィンドウが開いたりしないようにする。
 - プルダウンメニューなどについて、フォーカスを受け取った際に、自動的にページが遷移したり新しいウィンドウが開いたりしないようにする。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G107: 状況の変化に対するトリガーとして、"focus" ではなく、"activate" を使用する

G200: 必要なときにのみリンク先を新しいウィンドウ及びタブで開く

G201: 新しいウィンドウを開くときに、利用者へ事前に知らせる

達成基準 3.2.2 入力時

【適合レベル：A】

- 利用者が意図的に実行操作することなしに、フォーム入力内容の送信がされたり、新しいウィンドウが開かれたりすることがないようにする。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G80: 状況の変化を開始する送信ボタンを提供する

H32: 送信ボタンを提供する (HTML)

H84: アクションを実行するために、select 要素とともにボタンを使用する (HTML)

G13: 状況の変化を引き起こすフォームコントロールへの変更が行われる前に、何が起こるのかを説明する

達成基準 3.2.3 一貫したナビゲーション

【適合レベル：AA】

- システム要件などでやむを得ない場合を除き、すべてのページに共通のグローバルナビゲーションを配置する。
- ヘッダー及びフッター、グローバルナビゲーションなど、サイト全体で共通に提供するナビゲーションのリンクは、ページの中での配置位置、リンクの表示順序を同じとする。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G61: 毎回同じ相対的順序で繰り返されるコンポーネントを提示する

達成基準 3.2.4 一貫した識別性

【適合レベル：AA】

- 同じ機能を持ったコンテンツについて、名称（ラベル）、視覚的な表現をサイト全体で同一とする。
- 多くのページで提供されるリンク（サイトマップへのリンク、トップページへ戻るリンク、ページの上端へ移動するリンクなど）
 - リンク画像、リンクに添えられるアイコン画像
 - 箇条書きの先頭などに用いられる画像

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G197: 同じ機能を有するコンテンツに対して、一貫したラベル、名前（name）及びテキストによる代替を使用する

達成基準 3.2.5 要求による変化

【適合レベル：AAA】

- ページの表示内容の全体あるいは一部の自動更新を行なわない。
- リダイレクトを行なわない。
- 原則として、リンク先のページを新しいウィンドウで開く設定としない。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G76: 自動的に更新する代わりに、利用者がコンテンツの更新を要求するメカニズムを提供する

H83: 利用者の要求に応じて新しいウィンドウを開くために `target` 属性を使用して、そのことをリンクテキストで明示する (HTML)

G200: 必要なときにのみリンク先を新しいウィンドウ及びタブで開く

達成基準 3.3.1 エラーの特定

【適合レベル：A】

- 必須の入力項目に入力が行なわれていない場合、その箇所を通知する説明文を提供する。
- 特定の形式や値の入力が求められる項目に誤った入力が行なわれた場合、そのことを通知する説明文を提供する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G83: 入力完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

ARIA21: エラーフィールドを示すために `aria-invalid` を使用する (ARIA)

ARIA18: エラーを特定するために `aria-alertdialog` を使用する (ARIA)

ARIA19: エラーを特定するために、`ARIA role=alert` 又はライブリージョン (Live Regions) を使用する (ARIA)

ARIA21: エラーフィールドを示すために `aria-invalid` を使用する (ARIA)

G84: 利用者が許可された値のリストにない情報を与えた場合に、テキストの説明を提供する

G85: 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値の範囲外の場合に、テキストの説明を提供する

達成基準 3.3.2 ラベル又は説明

【適合レベル：A】

●ラベル

- コントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）の目的を的確に表すラベルを提供する。
- フォームのラベルと対応するコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）を id 属性と label 要素内の for 属性により、関連付けを行う。
- input type="checkbox"または input type="radio"の場合は label 要素は input の後に配置する。

例) <p>

```
<input type="radio" name="sex" value="ma" id="male">
<label for="male">男性</label>
<input type="radio" name="sex" value="fe" id="female">
<label for="female">女性</label>
```

</p>

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G131: 説明的なラベルを提供する

H44: テキストラベルとフォームコントロールを関連付けるために、label 要素を使用する (HTML)

- 複数のコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）が並列の関係で提供される場合は、fieldset 要素及び legend 要素を用いて複数のコントロールがひとまとまりのグループであることを示すとともに、そのグループの名称あるいは説明を提供する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H71: fieldset 要素及び legend 要素を使用して、フォームコントロールのグループに関する説明を提供する (HTML)

ARIA17: 関連するフォームコントロールを特定するために、グルーピングロールを使用する (ARIA)

- キーワード検索の入力ボックスのように、視覚的に入力欄の目的が明確で、ラベルを画面に表示することによりかえって視覚的なデザインが阻害され分かりにくくなるのが想定される場合は、label 要素を用いず title 属性を用いてコントロール（テキストボックスやラジオボタンなど）の目的を説明する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

H65: label 要素を使用できない場合に、フォームコントロールを特定するために、title 属性を使用する (HTML)

G167: テキストフィールドの目的をラベル付けするために隣接するボタンを用いる

●入力に関する説明

- 入力方法や入力の制約がある場合は、必ず「入力欄の前に」説明を配置する。特に以下のような制約事項がある場合は明記する。

- 入力の必須／未必須
- 入力文字数
- カタカナ／ひらがな
- 全角／半角
- 大文字／小文字
- ハイフン(-)の必要／不要

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G89: 期待されるデータ書式及び入力例を提供する

G184: フォーム又はテキストフィールド一式の先頭に、必須の入力を記述するテキストの説明を提供する

G162: 関係性を最大限に予測できるようにするためにラベルを配置する

G83: 入力が完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

H90: label 要素又は legend 要素を使用して、必須のフォームコントロールを明示する (HTML)

ARIA1: ユーザーインターフェース コントロールに対する説明ラベルを提供するために、aria-describedby プロパティを使用する (ARIA)

達成基準 3.3.3 エラー修正の提案

【適合レベル：AA】

※達成基準 3.3.1 エラーの特定の達成方法を参照

- 修正候補を提示可能な入力項目については、入力エラーが起きた際に、修正候補を提示する。

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G83: 入力が完了していない必須項目を特定するために、テキストの説明を提供する

ARIA2: `aria-required` プロパティによって必須項目を特定する (ARIA)

ARIA18: エラーを特定するために `aria-alertdialog` を使用する (ARIA)

G85: 利用者の入力が要求されたフォーマット又は値の範囲外の場合に、テキストの説明を提供する

G177: テキストの修正候補を提示する

G84: 利用者が許可された値のリストにない情報を与えた場合に、テキストの説明を提供する

達成基準 3.3.4 エラー回避（法的，金融及びデータ）

【適合レベル：AA】

※達成基準 3.3.6 エラー回避（全て）の達成方法を参照

達成基準 3.3.5 ヘルプ

【適合レベル：AAA】

- 入力方法や入力の制約がある場合は、必ず「入力欄の前に」説明を配置する。特に以下のような制約事項がある場合は明記する。
- 入力の必須／未必須
 - 入力文字数
 - カタカナ／ひらがな
 - 全角／半角
 - 大文字／小文字
 - ハイフン(-)の必要／不要

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G184: フォーム又はテキストフィールド一式の先頭に、必須の入力を記述するテキストの説明を提供する

達成基準 3.3.6 エラー回避（全て）

【適合レベル：AAA】

- 送信前に、フォーム入力内容の確認画面を提示する。
- 利用者が必要に応じて、送信前に修正を行えるようにする。（入力画面へ戻るリンクを用意するなど。）

【「WCAG2.0 達成方法集」に基づく達成方法】

G98: 送信する前に、利用者が回答を確認及び修正できるようにする

達成基準 4.1.1 構文解析

【適合レベル：A】

※1. 基本要件「構築に用いる技術」の内容を参照

達成基準 4.1.2 名前 (name), 役割 (role) 及び値 (value)

【適合レベル：A】

※1. 基本要件「構築に用いる技術」の内容を参照